

福祉用具の見学・体験

栗山高等学校 1年「栗山と福祉」 令和6年 2月 5日（月）

担当：栗山町立 北海道介護福祉学校 藤田・梶

生徒氏名

本日のねらい

- 福祉用具は、誰の、何のためのものかを考えてみましょう。
- 見学や体験を通して、使う人にとってどのような目的や効果があるのかを考えてみましょう。
- 今、私たちが出来ること、行うべきことは何かを考えてみましょう。

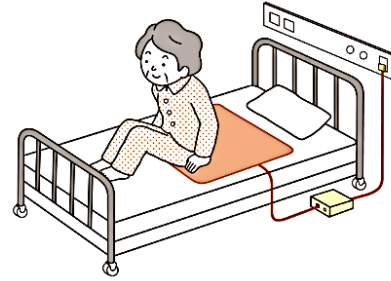
福祉用具とは

- 福祉用具の研究開発及び普及の促進に関する法律 （平成 1 3 年）

（定義） 第二条

「心身の機能が低下し、日常生活を営むのに支障のある老人又は障害者の日常生活上の便宜を図るための用具及びこれらの者の機能訓練のための用具並びに補装具をいう」

離床センサー (シート・マットタイプ)



【状態像】

ベッドからの起き上がりや、立ち上がりに不安がある方

【使用すべき場面】

病院や施設等のベッドに付属し、身体動作をセンサーで感知して介護者に知らせ、移動動作の見守りを行う。

【効果】

ベッドからの転落や転倒を未然に防ぐことができる。

エアーマット (床ずれ防止用具)



【状態像】

病気や治療により、ベッド上での寝たきりが続き、寝返りが困難な人

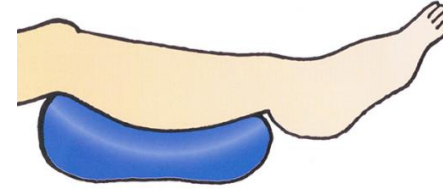
【使用すべき場面】

寝ている状態により、かかる体圧を分散し、皮膚の圧迫を避けたいとき

【効果】

ベッド上で過ごす時間が増えても、床ずれを防止することができる。

ビーズクッション (床ずれ防止用具)



【状態像】

病気や治療により、ベッド上での寝たきりが続き、寝返りが困難な人

【使用すべき場面】

寝ている状態により、かかる体圧を分散し、皮膚の圧迫を避けたいとき

【効果】

関節部位の筋緊張を和らげながら、床ずれを防止することができる。

床走行式 電動介護用リフト

【状態像】

ベッドからの起き上がりや立ち上がり、歩行が困難な人

【使用すべき場面】

ベッド ⇔ 車いす等、移動動作が必要なとき

【効果】

吊り具を使用して移動することで、介護者、利用者の身体的負担が軽減



電動ベッド

【状態像】

全ての方が対象

【使用すべき場面】

休息・睡眠を図る、その他の生活動作のとき

【効果】

背上げ機能・足上げ機能を活用することで寝たきりを防止し、ベッド上で
行えることが増える（食事や口腔ケア等）



スライディングボード



【状態像】

膝や股関節に痛みがある方、足底に力が入る方、上肢を活用できる方など

【使用すべき場面】

ベッド⇔車椅子 椅子⇔車椅子 トイレ⇔車椅子 車⇔車椅子
など**移乗動作が必要なとき**

【効果】

膝などの痛みで立位がとれない方でも、自分の力を活用しながら移乗できる

スライディングシート

【状態像】

自力で移動することが困難な方

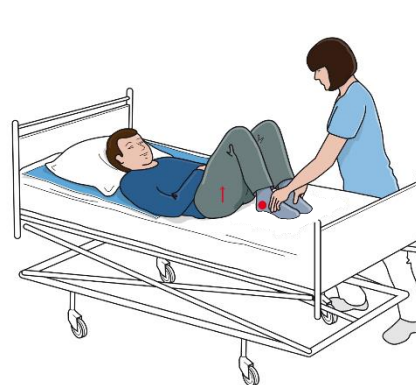
【使用すべき場面】

寝返りや車椅子、ストレッチャーなど**移乗・移動動作が必要なとき**

【効果】

自分の力を活用ながら移動できる（上方移動など）

また、摩擦などの負担がなく安全に移動できる



モジュール型車いす (最新型)

【状態像】

長時間の歩行が困難な方、円背の方

【使用すべき場面】

移動が必要なとき

【効果】

自分に合った車椅子に変えられるので、長時間安定して車椅子に乗ることができ、外出先が増え行動範囲を広げる支援につながる



リクライニング車いす

【状態像】

全介助の方、血圧変動がある方

【使用すべき場面】

移動が必要なとき

【効果】

フラットな状態に出来るので、ベッド上で寝たきりの方でも車椅子を使用することで様々な場所に行くことが出来る



多機能型歩行車

【状態像】

独歩での歩行は困難だが、掴まりながら歩行できる方



【使用すべき場面】

室内、外での移動が必要なとき

【効果】

歩行車を活用することで行動範囲を広げる支援につなげることができ、日常生活動作の維持・向上が図れる

室内用歩行器

【状態像】

独歩での歩行は困難だが、掴まりながら歩行できる方



【使用すべき場面】

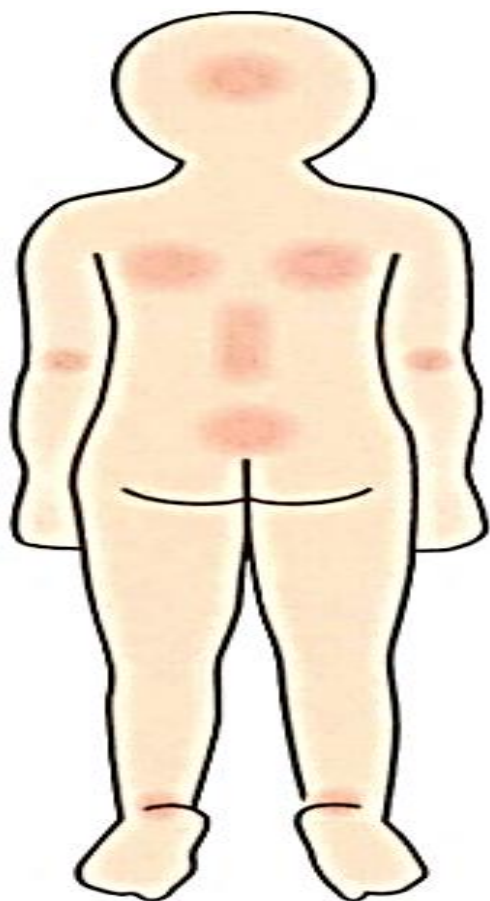
室内での移動が必要なとき

【効果】

軽く、小回りが利くので転倒リスクが少なく移動できる。
歩くことで日常生活動作の維持・向上が図れる

見学・体験から気づいたことを教えてください

【備考】 床ずれが発生しやすい部位（仰向け）



皮膚の構造(断面図)

